街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第１４９号

平成２７年（２０１５）８月発行

発行・事務局

◎ 荏原第一地域センター ◎

小山 3-22-3（〒142-0062）

tel ３７８６－２０００

fax ３７８６－５３８５

今年も好評！ 区民まつり

荏原第一地区区民まつりが７月18日（土）、小山台小学校で開催されました。

当日、時おり小雨が降る中、校庭では当番町会やＰＴＡ、中学生が出店する焼きそばやかき氷の模擬店が並び、ステージ発表はブラスバンドの生演奏など、様々な演目でにぎわいました。

体育館では地区委員会による「子どもまつり」、２０２０年東京オリンピック競技種目「グラウンドホッケー」の体験など、親子で楽しむ姿がありました。

夕方、提灯の明かりが灯ると盆踊りが始まりました。小雨が止み、空には虹が架かり、華やかな踊りの輪が、会場を彩りました。

（事務局）

模擬店が立ち並ぶ中で盆踊りを楽しむ

グラウンドホッケー体験

国勢調査へのご協力をお願いします。

国勢調査は日本国内に住む全ての人と世帯を対象として、国が５年に一度行う重要な調査です。

今回から、パソコンやスマートフォンを利用した便利なインターネット回答が全国で行われます。９月10日（木）以降、調査員が各世帯を訪問し、「利用案内及びＩＤ・パスワード」をお配りしますので、ぜひご利用ください。

インターネット回答をされなかった世帯には、９月26日（土）から、紙の調査票を配布します。郵送または、調査員に直接ご提出ください。

◎かたり調査に注意◎

調査員になりすまして、電話で家族構成を聞くなどの「かたり調査」にご注意ください。電話で聞き取りすることはありません。調査は９月～10月に行われます。不審な電話や訪問等がありましたら、地域活動課統計係までご連絡ください。

詳細については、広報しながわ９月１日号や品川区のホームページをご覧ください。（地域活動課統計係　５７４２-６８６９）

花めぐり

エンジェルトランペット

別名「ダチュラ」と呼ばれます。南北アメリカ熱帯地産で名前は綺麗ですが、花にも葉にもアルカロイド系の毒性を含んでいます。傷ついた手で触らないようにしましょう。

花のインパクトと春から夏にかけての成長の具合。すごい勢いで葉を茂らせ、花を咲かせる過程は圧巻です。毎年見ていても飽きません。

一般的に越冬させにくいと言われています。２０センチ程、枝を切って水につけたり、土に挿しておいても発根します。春先に大きな鉢に植えたり、庭植えを楽しむこともできます。

黄色、白、オレンジ（薄い赤）など多くの色を持つ花ですが、近隣ではあまり見かけなくなりました。

豪華な咲きっぷりを、また身近で見たいです。

（広報委員　川崎喬子）

みんなに紹介 ちょっと、いい話

「赤鼻センセイ」の講演会

去る７月６日（月）きゅりあん小ホールで開かれた、昭和医大の「さいかち学級（院内学級）」の「赤鼻センセイ」こと副島賢和（そえじま まさかず）先生の講演会に参加しました。病気という困難を抱えた子ども達に寄り添い、熱い心で導いている先生です。

子ども達にとって「学ぶことは生きることです」という副島先生の言葉が印象に残りました。子ども達の心を開き、言葉にし、生きることへの喜びと希望を共有する。多忙な毎日の中で、自分に対して心を開いてくれた少年の最期に会うことができなかったという先生の体験談を聞きました。感情を抑え、涙をこらえながら、声だけが次第に大きくなり、その声が慟哭に聞こえたのは私だけではありませんでした。

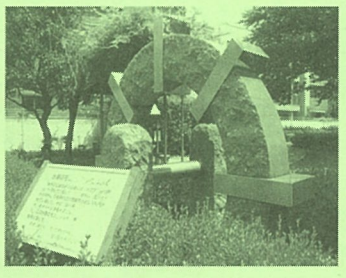
そして、人の命は一つであるということをお話しされました。12歳で亡くなったとしたら、一つの命を12で割ったということ。50歳で亡くなったなら一つの命を50で、１００歳なら一つの命を１００で割ったということ。それぞれの一つの命を精一杯生きたのです…と。これは、お伝えしたい先生の講演のほんの一部です。機会があったら、皆さんにも是非お聞きいただきたいと思い、紹介いたしました。

（広報委員　青木富代）

街角ウォッチング

あさひ公園の水車のモニュメント

中原街道の平塚橋陸橋を後地交差点に通じる途中、小山２－１７－２７に昔の品川用水周辺の風景の再現をテーマとして整備された「あさひ公園」があります。開設日は平成６年１０月２８日。花壇には色とりどりの花が咲き、いこいの場所として多くの方に利用されています。中でも水車のモニュメントが人目を引きます。



明治の終わり頃、沼地であった後地は当時、崖だった辺り（今の後地小学校の脇）に水車小屋を設け、粉を挽いていたそうです。かつての水路は、ほぼ全ての区域で暗渠化、あるいは埋め立てられており、現在ではその姿を確認できる場所は皆無です。

品川用水は、玉川上水の分水の一つで「上水記」によると、流長は７里半であったとされます。取水口は現在の武蔵野市境にあり、三鷹市、世田谷区、目黒区を経由して小山台１丁目から品川区に入ります。地蔵の辻（朝日地蔵堂）で二股に分水し、桐ヶ谷村（西五反田）と居木橋村（大崎）を経由して目黒川に合流します。もう一方は、現在の補助２６号線を通り、平塚、荏原、戸越方面の田畑を潤していました。細川家の屋敷（戸越公園）の庭園の池にも利用されていたそうです。

（広報委員　山内静子）

◎各ご家庭に配布しております。１部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、９月１８日(金)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。　http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

古紙を配合した紙を使用しています